

# 第2次 都留市長期総合計画

昭和60年度における都留市の望ましい姿をあきらかにした第2次都留市長期総合計画が策定されました。

この計画は、豊かな市土のうえにうるおいのある明るい市民生活を築き上げるため、経済社会情勢の変

化に対応し、市勢の均衡ある発展を図るための指針を得るとともに、その基本的施策を明らかにすることを目的とした計画であります。したがって、本計画は市民の連帯

感の高揚と産業の自立的発展に基づく都市づくりの総合的なプログラムといえます。

計画の構成は、市の現況と今後の課題を示した「総論」、将来のありべき姿を明確に展望した「基本構想」、この構想を具体化するための「基本計画」からなっております。さらに、基本計画で定められた事業の実現を図るため、毎年見直し改定ができる3年のローリング方式とする実施計画を策定します。

もちろん、この長期総合計画策定につきましては、庁内各課の総力を結集するとともに、この計画が市民総参加により明日の都留市の目標と指針を見出すため、市政モニターに、又、農業・商業・工業・社会教育・社会福祉部門の代表者の方々より、ご意見、ご要望を述べていただき、本計画が「住民の住民による住民のための計画」とすべく策定されたものであります。

さらに、関係行政機関の職員及び学識経験者で構成される長期総合計画審議会を設置し、市長の諮問に応じ、その所掌事務を分掌するため、部会（総括部会、産業振興部会、基盤整備部会、社会開発

## 人権モデル地区活動開始

★みんなの人権、たがいに尊重  
★住みよい都留市

部会、教育文化部会）を置き、慎重に審議していただき三月三日答申がなされました。次いで三月定例市議会において、長期総合計画基本構想を定める議決がなされました。

計画では、「明るく健康でうらやましいある都市」実現を旨とし、市民に「健康」・「教育」・「職場」を保障する三大目標を基本構想に定めました。この構想に基づき基本計画では次の5本の柱で諸事業を推進します。

- 一、快適で安全な生活環境の創出
- 二、豊かな福祉と健康づくりの推進
- 三、人間味と創造力あふれる人づくり
- 四、創意と活力のある産業の発展
- 五、参加と合意に基づく市政の推進

この計画の内容については、計画実現のために市民の皆様のご理解と協力をいただくため、都留市長期総合計画のパブリックコメントを配布いたします。本計画の趣旨と目的を十分に理解していただき、計画推進のために市民の皆様のご協力をお願いいたします。

三月二十九日、市役所の会議室で、「都留市人権モデル地区推進協議会」が結成され、初会合が開かれました。

これは、今年四月から来年三月までの一年間、都留市が法務省から指定を受け、「人権モデル地区」の活動を開始するので、これを市民ぐるみで成果をあげようとする皆さんの集まりです。

当日は、門馬甲府地方方法務局長、志村警察署長、高部市長を来賓に迎え、協議会委員の熱心な話し合いが行なわれ、事業計画が決まりました。

この機会に市は、一層ひとを大切にする姿勢を行政のうえで貫こうとしています。市民の皆さんもあらためて「人権」についてお考えをいただき、お互いの立場を尊重しあい、親子、兄弟、相隣、血族、友人、地域社会の人間関係が、思いやりあふれるものになるよう、そして住みよい都留市となりますよう心がけてください。

協議会の役員と委員は次の方々です。  
◇顧問  
高部通正市長  
原田幹全市議会議長

志村昭二警察署長  
堀田貞治法務局都留支局長

◇会長  
中野八吾（人権擁護委員）  
◇副会長  
堀内保（行政相談委員）  
千野千三（人権擁護委員）

◇監事  
鈴木与平（社会福祉協議会長）  
中大路千代子（広報委員）

◇委員  
小俣次郎（教育委員長）  
国井豊次郎（商工会副会長）  
重森谷五郎（民生委員協議会長）  
谷内武義（保護司）  
柳場憲造（調停委員）  
近藤正俊（市労連委員長）  
舟久保正一（青年会議所理事長）  
石原ひろ（市連合婦人会長）  
平井健一（小学校長）  
小嶋直秀（中学校長）  
杉本勇（社会教育委員）  
鈴木清一（心配ごと相談員）

原環（母子相談員）  
原力（ライオンズクラブ会長）  
相原宗雄（ロータリークラブ会長）  
小幡一臣（青年連絡協議会長）  
渡辺徳（自治会連合会長）  
珠久やす（母子福祉会長）  
滝本俊男（身体障害者福祉会）  
新津正男（青少年のための市民会議会長）

近藤世作（人権擁護委員）  
内野好恭（ ）  
白井武雄（ ）  
河野清次（ ）  
山本三重子（ ）